戦後のシベリア抑留
戦争の悲惨さや平和へ
演で呼び掛けている西
＝加賀市山中温泉加美
＝が18日、山中温泉文
後の演壇に立つ。抑留
境を生き抜いた山中出

山中漆器の木地師だった西さんは1943（昭和18）年、18歳の時に徴兵され、45年6月に通信士として旧満州（現在の中国東北部）に渡った。同年8月に終戦を迎えると、旧ソ連軍の捕虜となり、イルクーツク州タイシェット地区の国営農

シベリア抑留

山中の89歳西さん、

展示する写真などを整理する西さん（右）と表谷さん ＝加賀市上野町

「中小企業都市連絡協」
加賀市、北陸で初加盟

加賀市は中小企業の振興を目的に、全国の自治体や商工会議所で構成する「中小企業都市連絡協議会」に加盟する。北陸の自治体としては初めてで、協議会が主催する「中小企業都市サミット」を通じ、自治体や企業同士の交流、新事業の創出を目指す。

協議会は1996（平成8）年度に大阪府東大阪市が発起人となり、設立された。現在は同市のほか、東京の墨田、大田両区、埼玉県川口市、兵庫県尼崎市、長野県岡谷市の6自治体で構成し、加賀市は15日に尼崎商工会議所で開かれる総会で加盟が承認される。

協議会は2年に1度、「サミット」を開催し、首長と商工会議所会頭が必要な施策や課題などを話し合い、国に提言している。過去9回開かれ、次回は2年後に兵庫県尼崎市で予定されている。

加賀市は今後、先進地視察などを通し、企業育成や経営基盤の安定、強化に関する施策の研究などを進める。企業と企業を引き合わせて取引や新事業開発に結び付ける「マッチング事業」も想定している。

市長の退職金ゼロ条例案、結論出ず

加賀市議会総務委

加賀市議会総務委員会は13日、市役所で開かれた。3月定例会で継続審議となった宮元陸市長の退職金をゼロにする条例案について審議したが、結論は出なかった。

3月定例会では「市長の諮問機関である特別職報酬等審議会に諮って意見を聞き、答申内容を確認した上で議会として審査をするべきだ」との理由で、継続審議となった。

委員会で市側は審議会を開催するかどうかも含めて検討中だと報告。宮崎護委員長は「当局の対応が見えたら委員会としても協議したい」と話し、他の委員からも意見は出なかった。

雄姿磨き 来年のお旅へ
曳山を大修復
小松・大文字町

修復に期待を寄せながら曳山を解体する住民 ＝小松市大文字町

来年のお旅まつりで、曳山子供歌舞伎を上演する小松市大文字町は13日、曳山の修復に乗り出した。屋根などに手を施す約20年ぶりの大規模修復で、美川仏壇の技で曳山の雄姿に磨きを掛ける。

大文字町の曳山は柱や屋根の破風の漆がはがれ、舞台を囲む高欄には亀裂が入っている。文化庁の補助を受け、白山市の北島仏壇製作所に修復を依頼した。

13日は、住民約60人が大文字町会館前で曳山の解体を進め、北島仏壇製作所4代目の北島昭浩さんに部品を預けた。来春までに漆が塗り直され、高欄と柱4本のうちの1本は青森ヒバで新調される。若杉伸一町内会長は「来年は大切な年。高い技術で復活する豪華な曳山を多くの人に見てもらいたい」と話した。

4町解体、3町が展示

曳山を持つ8町のうち4町は13日、曳山を解体した。寺町と西町はこまつ曳山交流館で、八日市町は県こまつ芸術劇場うららで曳山の展示を始めた。龍助町は組み立てたまま保管している。お旅まつりの閉幕に伴い、本折日吉神社では、春季大祭の式典が行われた。

いしる焼きさば 定食に
加賀・竹の浦館
限定販売が好評

加賀市竹の浦館は13日までに、イベントで限定販売してきた「いしる焼きさば」を、定食のメニューに取り入れた＝写真。奥能登の伝統的な調味料に漬けて焼いたさばを、自家製の漬物やみそ汁と一緒に味わってもらい、発酵文化の魅力を発信する。

いしる焼きさばは、さばをいしるに約1時間漬け、乾燥させて焼く。いしるの豊かな風味が特徴で、これまで「沸く沸く発酵うまいもん市」（本社後援）で提供し、来館者から好評を得ていた。

定食には焼きさばと漬物、みそ汁に、枯れ松葉を使って炊き上げる館周辺の伝統ご飯「こっさめし」が付く。1人前800円（税込み）で、予約が必要。

石川南

きょう初誕生

小幡隼大ちゃん 能美市寺井町 長男

はにかんだ笑顔で家族を癒やしてくれます。音楽に合わせて跳ねたり、ボールで遊んだりするのが大好き。思いやりのある元気な子に育ってね。（両親）

会社員
智昭さん（36）
紗依里さん（34）

新装版 おもしろ金沢学 増補
定価（税込）1,296円 北國新聞社出版局 ☎076-260-3587

野々市寿大学校と大学院で開校式

野々市市寿大学校と大学院の今年度開校式は13日、野々市市中央公民館で行われた。大学校28期生50人、大学院第25期生186人が入校し、中央公民館長の田多野和彦学校長と粟貴章市長から激励を受けた。大学校の前川靖子さんが新入生の言葉を述べた。